



高機能物流センターである ALCおよびRDC

高機能物流センターであるALC (Area Logistics Center) およびRDC (Regional Distribution Center) は、メディパルグループが社会インフラの役割を担うための重要な物流基盤です。サプライチェーンの全体最適をめざして、欠品やミスのない確実な納品と、有事の際も止まらない盤石な流通の実現に努めています。

ALCは、医療用医薬品等卸売事業における物流拠点です。お客様に近い場所に設置したセンターで、医薬品・医療機器・臨床検査試薬など20,000品目を超える在庫を有し、お客様に直接お届けすることで、受注から納品までのリードタイム短縮を実現しています。現在、国内12か所^{*}で稼働しており、今後、新たに阪神ALCを設置予定です。これにより、日本全国をカバーする医療用医薬品の物流プラットフォームが完成します。

RDCは、化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業における物流拠点で、国内16か所^{*}で稼働しています。さまざまな小売業様の業態・売場に合わせ、約50,000品目の生活必需品を効率よくローコストでお届けしています。

※2022年9月末時点

1 サプライチェーンの 成長の源泉 全体最適を 実現する物流機能

「医療と健康、美」の事業フィールドで、メーカーと全国の医療機関や調剤薬局、小売業様などを独自開発の高機能物流センターでつなぎ、必要な商品を、必要な回数で、必要な量だけ、効率よく確実にお届けする仕組みを構築しています。また、温室効果ガス排出量削減をはじめとする環境負荷低減に取り組んでいます^{*}。

※詳しくはP.50-51「環境保全」をご覧ください。



ALCの特長



検品時間の短縮
顧客の時間創出

納品箱のバーコードをスキャンすること(個口スキャン検品*)による検品時間の短縮など、納品精度の高さを活かした物流機能や、PRESUS®、McHIL®といったALCと連動した業務サポートシステムによって、お客様の業務効率化を支えています。



品揃え率
99%以上

20,000品目以上の多種多様な商品を適正に管理するために、出荷実績をベースにした需要予測システムを独自に開発し、品揃え率は99%*以上と、品切れがほとんどない状況を実現しています。
※常時在庫品揃え率は99.8%



超低温物流
-150°C以下

再生医療等製品などに求められる-150°C以下の超低温を含めたさまざまな温度帯に対応した保管・配送システムを開発し、全国どこでもお届けできる温度帯別物流プラットフォームを構築しています。

RDCの特長



出荷精度
99.999%

JANおよびITFコードによるスキャン検品、重量検品などにより、ミスが極小な出荷精度を実現し、流通EDIへの対応が可能な高精度システムを導入しています。これにより、出荷のミスをなくすことでスピーディかつムダのない物流を実現しています。



生産性
2倍

「SPAUD*」導入により、従来と同じ作業人員数で2倍の作業量を処理すること(生産性2倍)が可能となるだけでなく、物流機能強化に加え、危険作業や人への負担の多い作業をロボットに任せることなどにより「人にやさしい物流センター」を実現しています。



特許件数
18件 (2022年3月末時点)

高生産性とローコストを実現するための物流技術を追求しています。最先端のAIテクノロジーとロボティクスを駆使した新しい物流システムを構築するため、自社での技術開発も進め、特許を取得した機器・システムは18件に上ります。

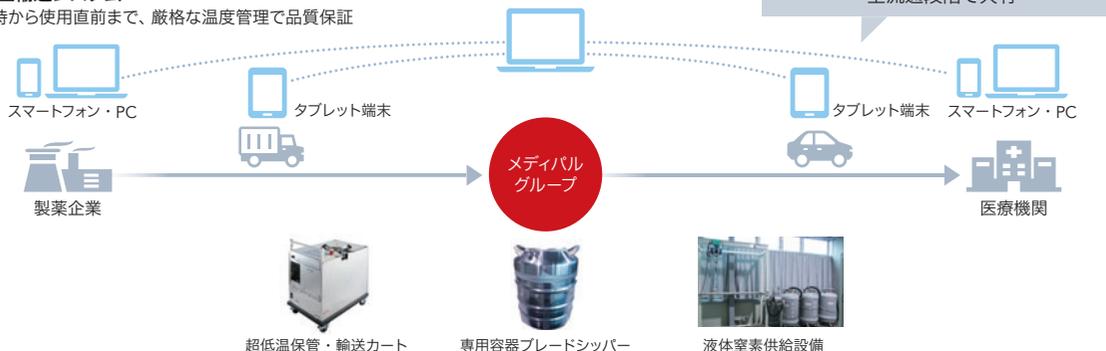
FOCUS 再生医療等製品の流通を支える超低温輸送システム ~医療用医薬品等卸売事業~

再生医療分野の医薬品の流通拡大を見据え、-150°C以下の超低温下での保管設備と配送体制を構築し、メーカー出荷時から患者さんのもとまで、安全・安心にお届けしています。

多様化する医薬品の流通に対応可能な保管設備と配送体制を構築

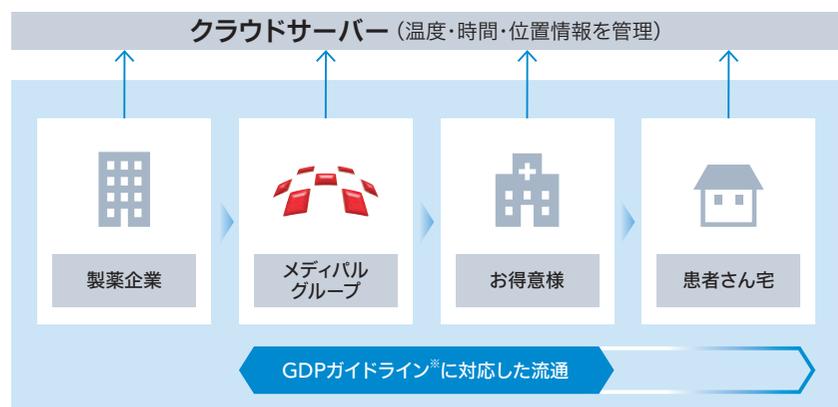
超低温輸送システム

出荷時から使用直前まで、厳格な温度管理で品質保証



TOPICS トレーサビリティと温度帯物流

当社グループは、高度な温度と振動などのモニタリング技術を有するパートナーと、医薬品の温度などの品質情報をシームレスにモニターするクラウド型システムを共同開発します。この技術を活用し、製薬企業から患者さんまでのトレーサビリティの完全化とGDPガイドラインへの対応を進めることにより、業界における強みを確立していきます。



※GDP (Good Distribution Practice : 医薬品の適正流通) ガイドライン
流通経路 (仕入・保管・供給) の管理が保証され、医薬品の完全性が保持されるための手法、さらに、偽造医薬品の正規流通経路への流入を防止するための適切な手法を定めたもの。

*用語説明は、P.82の用語集をご参照ください。